



晩秋の花々を巡る…

ツワブキ、ハマギク、メキシカンブッシュセージが開花中。

国営ひたち海浜公園では、秋の主演といえるコキアの紅葉とコスモスの見頃が過ぎ、現在、風情ある晩秋の花々が開花しています。

ツワブキは、すっと伸びた花茎の先に咲く愛らしい黄色の花と、つやつやした光沢をもつ濃い緑の葉が美しく、「バーベキュー広場」近くの木立の下などに群生しています。

サイクリングコースの「常陸野サークル」付近や「砂丘エリア」では、ハマギクが清楚な白い花を咲かせています。当公園の所在地であるひたちなか市付近が自生地の南限とされており、市の花になっています。

そのほかにも、「香りの谷」のメキシカンブッシュセージが、ピロードのような紫色の蕾から、紫や白い花を咲かせ始めました。

秋を彩ったコキアの紅葉やコスモスほどの華やかさと花数はありませんが、ひっそりと咲く晩秋の花には趣があります。これから徐々に寒くなりますので、暖かい恰好でそんな花々を探してみてください。



2012年10月30日撮影

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報宣伝チーム 青木・服部・和光

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

TEL: 029-265-9001 (報道関係者の方は 029-265-9004・9005 迄) FAX: 029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

ツワブキ

キク科ツワブキ属 多年草
原産地：日本

見頃：10月上旬～11月上旬
(綿帽子は12～1月)

開花中

ツワブキは福島・石川県以西の海岸や海辺の山などに自生する常緑のキク科の多年草です。名前の由来は、フキに似ていること、そして、葉に海浜植物特有の光沢があることから、ツヤブキが転訛したと言われています。葉や花が美しく、ハマギク、イソギクと並んで観賞価値が高いことから、古くから栽培されてきました。秋になると70cm程度の花茎が伸び、径3～6cmの黄色い花をつけます。花後はタンポポのような綿ぼうしを1月下旬頃まで楽しむことができます。



2012年10月30日撮影

ハマギク

キク科キク属 多年草
原産地：日本

見頃：10月中旬～11月上旬

開花中

ハマギクは茨城県から青森県の太平洋側に分布し、海岸の崖などに生える日本原産のキク科の植物です。

学名は「Nipponanthemum nipponicum」。植物として唯一属名にも種小名にもニッポンの名が入った学名を持ち、茨城県出身の植物学者、松村任三氏によって命名されました。本公園のあるひたちなか市の花はこのハマギクで、ひたちなか市付近がハマギクの自生地であることから、市の花となっています。



2012年10月26日撮影

メキシカンブッシュセージ

シソ科サルビア属 宿根草 原産地：メキシコ

見頃：10月中旬～11月下旬

開花中



2012年10月26日撮影

メキシカンブッシュセージはアメジストセージやサルビアレウカンサともよばれ、ビロードのような紫のつぼみから同じく紫の花を咲かせるものと、白い花を咲かせるものがあります。ただいま「香りの谷」で開花しています。

晩秋の花巡りとあわせて、音楽の生演奏をお楽しみください！

11月4日(日)開催

そよかせコンサート



地元の小学生、中学生、高校生によるエレクトーンのコンサートを開催します。地域の子供達に日頃の練習の成果をお聞きください。

- 時間 / 11:00～12:00・13:00～15:00
- 場所 / そよかせドーム
- 協力 / 関山楽器音楽教室